

## 事業の背景・目的

立山黒部アルペンルートでは、山岳地の緑化、ごみの持ち帰り運動、外来植物の除去活動といった自然環境の再生・保護活動が各種団体によって行われている。しかし、これらはあくまで立山黒部アルペンルート周辺に限定された活動であり、平野部にも同様のレベルの環境保全活動が地域住民に浸透しているとは言い難い。さらに、その平野部では特定外来生物であるオオハンゴンソウの生育が確認され、立山黒部アルペンルートへの観光客、登山客等の往来により、山岳地域への侵入が危惧される状況となっている。このため、当町におけるオオハンゴンソウ等特定外来生物の生育状況を把握し、今後の防除に関する方針を設けることが求められている。

## 事業の内容

令和元年度

### 事業①：立山町オオハンゴンソウ生育状況調査事業

- 立山黒部アルペンルート周辺及び平野部においてオオハンゴンソウの生育状況調査を実施。



### 事業②：立山町オオハンゴンソウ早期防除計画策定事業

- 事業①の調査結果の整理及び分析
- 専門家を招聘して検討会を実施
- 立山町オオハンゴンソウ早期防除計画を策定



## 得られた成果

・オオハンゴンソウ生育状況調査事業では、計6回の生育状況調査を実施し、町内のどの位置にどれくらいのオオハンゴンソウが現在生育しているかをまとめることができた。当町において今回のような調査が実施されたことはなく、この調査結果は中長期的に有用なものになるといえる。

・立山町オオハンゴンソウ早期防除計画策定事業では、生育状況調査を整理・分析後に検討会を実施し、計画の策定を行った。また、策定に際して専門家を招聘したことで、オオハンゴンソウの特性や当町の現状に沿った的確な防除方法等についてアドバイスをいただくことができ、より計画の内容をブラッシュアップすることができた。

立山黒部アルペンルート

